

卒業式予行「大きな背中」 3 / 23

今日は卒業式の予行にあたり、在校生代表として参加する5年生のみなさんに、お話をします。

先日、6年生に、卒業式の主役は、他の誰かではなく、あなたがた自身であることを再確認しました。

では、5年生のみなさん、みなさんはどうでしょう。脇役ですか？ 実は、卒業式というドラマの中では、みなさんも主役です。卒業生を見送るというドラマの主人公です。

まもなく6年生は、この学び舎を巣立ち、新たな世界へと歩みを進めます。その姿を見届けるみなさんの姿勢や言葉、そして心のこもった歌声の一つひとつは、卒業生への敬意と感謝を表すものです。

今日に至るまでの練習の姿にも、6年生への「ありがとう」の気持ちがとても表れていました。5年生、立派です。

みなさんはこれまで多くのことを6年生から学んできました。卒業式は最後の学びの場です。卒業式でも、6年生の大きな背中を見ながら、「自分たちはどのような6年生でありたいか」を静かに思い描いてみてください。立ち方や座り方、話の聞き方、歌う姿勢、その一つひとつが、富士見丘小学校の未来をつくっていきます。

そうして、次は、みなさんの背中を見て、4年生、3年生へと、受け継がれていきます。

卒業生への感謝の気持ちと、来年の自分たちへの期待を胸に、卒業式に臨んでください。

では、最後に、6年生、あと少しの小学校生活、思いっきり楽しんでください。